

ジオパーク縁 阿蘇と交流



学生と生徒が農業をテーマに意見を交わしたグループ討論

田沢湖の水質に関する研究について発表する大曲農高生



大仙で研修会

首都圏の学生らでつくる討論グループ「K-I-P 知日派国際人育成プログラム」(東京)の地域研修会が21日、大仙市の大曲農業高校で開かれた。米国の学生を含む26人が講演や研究発表に耳を傾け、農業の現状や課題について同校の生徒やOBと意見を交わした。

大農高生、学生らと議論

研修会には秋田大と国際教養大、県立大の学生計8人も同行。大曲農高OBで大仙市神宮寺の農家齊藤拓さん(23)が「地元の農家として生きる」と題して講演。米価が下落傾向にある中、タイコンやスイカなど複数の作物を育ててこみだけに頼らない農業経営に取り組んでいることを説明し

た。齊藤さんは「若手農家が長く農業を続けていけるよう、農家同士の交流には積極的に参加しよう」と周囲に呼び掛け、単に情報を交換するだけでなく、仲間がいる安心感や楽しさを伝えたい」と強調した。また同校の生物工学部員7

人が、田沢湖をクニマスが生息できる環境に戻すため、水質改善の研究に取り組んでいることを報告。「一度壊れた環境は簡単に戻らないことを実感している。田沢湖の環境を改善するため研究を続けていきたい」と訴えた。学生と同校生徒のグループ討論も行われ、学校教育にお

ける農業体験の必要性などについて議論。参加者からは中学までは授業の一部でもいいが、高校では英語や数学などの授業が優先されるため、農業は専攻分野として学んだ方がいい」とさまざまな意見が出た。K-I-P会員で東大文学部3年の小泉量之介さん(21)「神奈川県は「地域の高校生や農家と交流できる機会は少ないので、貴重な体験になった」と話した。

(田中倫子)

リンゴ摘果 効果的に 県果樹試験場 女性向け講習



摘果作業に当たたる参加者

リンゴ農家の女性を対象にした栽培講習会がこのほど、横手市の県果樹試験場で開かれた。同市や田利本荘市など県内の産地から約25人が参加し、春に行う摘果作業について学んだ。多くの農家が家族総出で行う摘果をより効果的に進めて

もらおうと、試験場が毎年この時期に開いている。今年は「JA秋田らるる」と連年開催している農家の勉強会「りん

角館ラジコンクラブ会長

は 芳賀 たかし 高さん(69)

仙北市田沢湖角館東前郷



(福原育)

バッグやタペストリーなど 37人の力作並ぶ

あすまで美郷町

美郷町六郷の田丸聖子さんが主宰するバッグワークショップの作品展が、同町の名水市場湧太郎で開かれている。生徒37人の個性あふれる作品約100点が並び、訪れた人を魅かせている。あす25日まで。ビーズやリボンをあしらったバッグやポーチなどを展示。約15四方のタペストリーもあり、会場は華やかな雰



時(最終日は4時)

バッグやタペストリーなど 37人の力作並ぶ

あすまで美郷町

サツマイモ苗植え 親子で体験しよう

28日 横手市山内

親子でサツマイモの苗を植える体験会が28日、横手市の山内地域で行われる。地元農家有志でつくる「横手食育道場」(平良木亨代表)が参加者を募集している。申し込みはあす25日まで。子どもたちに畑仕事の楽しさを知ってもらおうと同道場が企画した。対象は小学1、2年生とその保護者。メンバーが植え方を指導する。参加者には9月に予定している収穫作業も体験してもらう。市が地元住民に案内役を依頼し、体験型観光を推進する「観光エキスパート」事業の一環。当日は午前10時に同市山内土沢の「道の駅さんない」に集合する。1時間ほど農作業を行った後、名物のいもの汁を味わう。参加費は収穫体験費用と合わせ1組(2〜4人程度)千円。先着20組。申し込み、問い合わせは市観光おもてなし課0182・322・2111

議会ファイル

◆大仙市 23日、6月定例会の30日招集を告示。議会運営委員会を開き、会期を6月20日までの22日間と決めた。提出案件は16年度一般会計補正予算案など15件。日程は次の通り。

▽30日「本会議(市政報告、議案上程など)▽6月9日「本会議(一般質問)▽10日「本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)▽13、14日「常任委員会▽20日「本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)

地域情報

あす 横手市



秋田県立近代美術館 美 術 展

HOKI MUSEUM EXHIBITION

秋田県立近代美術館

2016 72~911

会期中 無休

会場

秋田県立近代美術館